



金融における世界メジャーとして挑戦

令和7年1月3日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

資本力と世界における拠点の整備、各金融センターにおける自己拠点と取引環境などを整備することは、世界メジャーにおける巨大資本と同じ現実への参加を求め、グローバルスタンダードにおける自己事業構築を実現できる。

これらは金融の国際化における必要性であり、それら新しい現実における企業への要求性は、将来におけるデジタル通貨とITシステムにおける自動運用や自動化される銀行機能など、また投資運用における世界の金融センターにおける拠点整備と運用環境などにおいて、総合的な金融事業の構築を求められるものである。

ままた富裕者への投資運用サービスの提供など、多様な金融サービスの整備は、新しい現実における多様化する金融サービスの構築を新たに提供することを求められる。

スマートマネーや仮想通貨など、多様化する新たな金融サービスや運用など、それら環境を整備し、事業構築を得ることは、選択と集中における優れた企業環境と高い利益構築を実現できるものである。

これらは金融における世界の巨大資本が支配する金融という現実においてその事業構築を得ることの難しさが存在し、先端トレンドへの転換とともに事業の選択と集中は強い金融の実現や、新たな資本力における事業構築の要求を得るのである。これら技術システムと資本力において世界へ対等に参加することの必要性なのである。

金融の統一は資本における世界の統一なのである。また金融という経済のライフラインにおいてそれら自己事業構築を得ることの必要性は必ず存在するのである。

またデジタル通貨への転換などは、ITシステムやAIにおける金融の完全な自動化への転換を未来において有するのである。

これらは総合金融業者としての事業構築を世界基準において実現することにおいて、はるかに高い利益性を事業において可能とするのである。この資本力が世界という基準であり、それら現実が唯一世界への参加を実現できるのである。